

## 第 12 回腸内細菌学会のご案内

日 時：平成 20 年 6 月 12 日（木）～ 6 月 13 日（金）  
会 場：東京大学農学部 弥生講堂「一条ホール」(東京都文京区弥生 1-1-1)  
大会長：大草 敏史(順天堂大学医学部)  
参加費：会員 6,000 円 一般 7,000 円 学生 2,000 円（事前登録）  
          会員 7,000 円 一般 8,000 円 学生 2,000 円（当日登録）  
          （予稿集会員無料配布、当日別売 1,000 円）  
主 催 財団法人 日本ビフィズス菌センター  
          〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-12  
          TEL:03-5319-2669 FAX:03-5978-4068  
          ホームページ：http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbf/

### メインテーマ：拡がる腸内細菌の世界 病原細菌とは？常在細菌とは？

#### 学会スケジュール

< 6 月 12 日（木）（9：10～17：25） >

#### 開会のあいさつ

一般演題発表（9：20～15：30）

日本ビフィズス菌センター研究奨励賞授賞式（15：40～15：45）

受賞講演（15：45～16：35）

特別講演 1（16：35～17：25）

Fang Yan (Vanderbilt University School of Medicine)

「Mechanisms and the potential application of probiotic-derived soluble proteins for intestinal inflammation」

懇親会（17：50～19：30） 参加費 2,000 円

< 6 月 13 日（金）（9：30～16：40） >

シンポジウム 1（9：30～12：00）

『腸内フローラの破綻と病原性発現 臨床の立場から』

「腸内常在細菌の病原性」 大草 敏史（順天堂大学医学部）

「全身性炎症反応症候群（SIRS）に対するシンバイオティクス療法の効果」

清水 健太郎（大阪大学医学部附属病院）

「*Clostridium difficile* 感染と腸内フローラ」 神谷 茂（杏林大学医学部）

「*Helicobacter hepaticus* と肝・胆道疾患」 横田 憲治（岡山大学大学院保健学研究科）

「*Propionibacterium acnes* とサルコイドーシス：内因性感染症の新たな疾病発生機構」

江石 義信（東京医科歯科大学大学院医歯科学総合研究科）

特別講演 2（13：00～13：50）

Silvia Resta-Lenert (University of California San Diego)

「Commensals, probiotics and the intestinal epithelium」

シンポジウム 2 (14:00 ~ 16:30)

『腸内病原菌の新たな実像』

「腸内フローラと腸内病原菌」 伊藤 喜久治 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

「腸内フローラと炎症性腸疾患」 竹田 潔 (大阪大学大学院医学系研究科)

「病原大腸菌と非病原大腸菌のゲノム解析」

林 哲也 (宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)

「*Helicobacter pylori*感染によるAID発現を介した遺伝子変異生成からの胃発癌機構」

千葉 勉 (京都大学消化器内科)

「ウェルシュ菌の遺伝子発現調節機構からみた病原性」 清水 徹 (金沢大学医学系研究科)

閉会の辞

会場へのアクセス

【地下鉄】南北線「東大前」駅下車 徒歩 1分

千代田線「根津」駅下車 徒歩 8分

【都バス】「茶 51」駒込駅、王子駅または、「東 43」荒川土手行「農学部前」バス停 徒歩 1分

第 12 回腸内細菌学会 URL

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbf/meeting/12.html>